

防災ヘリでの救出訓練展示【初任科】

～ 空からの救出！ ～



8月9日（火）14時10分、県消防防災航空隊の「オレンジアロー」が飛来し、救出のデモンストレーションを行いました。学生は、テレビ等でしか見たことがないヘリコプターやその救出の様子を目の前で見て、その迫力と頼もしさに刺激を受けていました。

○オレンジアローの概要

- ・全長 16.62m、全高 4.98m、全幅 13.8m ・最大巡航速度 278km/h ・最大航続距離 730km
- ・令和3年度活動状況…救急:19件 山岳救助:17件 水難救助:16件 火災:10件 等

(担当教官コメント)

講義では、活動内容の紹介や実事案活動動画の視聴等を通じて、安全管理の徹底や地上隊との連携など、多くの気づきを得ることができました。

訓練展示では、航空隊員の活動、機体からのダウンウォッシュの風、エンジン音などを五感で感じ、航空救助に触れるのが初めての学生にとって大変貴重な経験となり、航空隊に憧れを抱く学生が多くなりました。将来、学生の中から航空隊に任命され、活躍することを期待しています。

教務課主査 早川 淳 (磐田市消防本部から派遣)

第2回初任科体力測定

～体力気力の練成～



立位体前屈



握力



上体起こし



立三段跳び



反復横跳び



懸垂



100m 走



274.3m 走



1,500m 走



4 km 走

第1回体力測定を実施したのが、初任科学生入校後間もない4月。

積み重ねた訓練の成果、自己鍛錬の結果を確認する第2回体力測定を8月26日と9月5日の2日間で実施しました。

学生達は真夏日にも負けず、精一杯競技に臨み、多くの学生が記録を更新していました。

初任科防災施設等視察研修

～原子力災害知識を取得せよ～



浜岡原子力発電所



御前崎市消防本部

8月31日（水）に、放射線災害について理解を深め、消防職員としての知識の向上を図るため、浜岡原子力発電所と御前崎市消防本部へ視察研修を行いました。

浜岡原子力発電所では原子力発電の仕組みを学び、御前崎市消防本部では放射線の種類や人体への影響、放射線災害への対応を学びました。初任科生は資機材を実際に見て触れることで、座学では得られない貴重な体験をしたと思います。

石野危機管理部長学校視察



9月8日（木）県危機管理部の石野部長が来校し、訓練の様子や消防学校の施設を視察しました。

学生がグラウンドで訓練に励んでいる様子や教官の厳しい指導の様子を、部長は熱心に御覧になっていました。食堂で給食を召し上がっていただいた後、校長と学校の課題等について意見交換し、部長に消防学校の現状を肌で感じていただきました。

出野副知事学校視察



9月9日（金）出野副知事が来校し、訓練の様子や消防学校の施設を視察しました。

校長から教育訓練の概要の説明を受けた後、校内施設と初任科学生の訓練を視察しました。短い時間でしたが、学生の訓練に取り組む真摯な態度と、教官の厳しい指導の様子を見て、当校の訓練の神髄を感じていただいたと思います。

教官紹介 [早川教官]



早川教官は、磐田市消防本部から教官として派遣され3年目となります。常にポジティブな姿勢を保ち、人物をよく観察して、短所を指摘するよりも長所を発見しその点を伸ばしていく指導をしています。
～高倉校長と早川教官との面談から～

校) 2年間の教育指導の中で、重視していた点はありますか。

早) 第1は、見取りから多くの気付きを持ち、他学生の活動から学んでほしい点です。第2は、消防は24時間体制なので、オンとオフをしっかりと切り替えてほしい点です。第3は、ポジティブな意見を相手に伝えてほしい点です。悪いところは指摘し易いのですが、相手をしっかりと見て、良いところを探し、それを伝えるコミュニケーション能力を上げることも大切と考えます。

校) 今年度は派遣の最後の年ですが、どんなことを思っていますか。

早) 今年度が最後と思うと、一日一日に感謝し、教官業務に携われて良かったと思っています。特に、昨年度の救助科修了式は、ほとんどの学生が感激で泣いて、担当として感慨深かったです。

校) プライベートで何か趣味はお持ちですか。

早) 小学校時代からサッカーをしています。仲間とサッカーチームを作り試合をしたり、消防に入ってから、職場の仲間とサーフィンを行っています。寒い冬の海でも、サーフィンを楽しんでいます。

高倉校長から一言

早川さんは、良く通る声、なめらかな口調、そして、自分から見ればまだお若いのに、どうしてそんなものの見方ができるのかと感心するぐらい生き方のポリシーをぶれなく持っているという印象の人です。おそらく、周りの意見を良く聴き、それをしっかり吸収・取捨選択して自分のものにする能力に長けている人だと思います。初任科の学生はもちろん、10月に担当される救助科の学生にも人間形成上に大きな影響を与えてくれると思います。

一方、磐田市出身の早川さん、色の黒さが尋常ではないし、何をされているのか聞いてみると海に近いお住まいでサーフィンをされてるとのこと。納得です。

磐田と言えば、3年前の2019年9月、ラグビーW杯12会場のひとつエコパを所管する担当課長として、当時ヤマハララグビー部監督の清宮克幸さん等とラグビーW杯の開催に取組みました。開幕まではチケットが売れないプレッシャーを受け続けましたが、エコパで日本がアイルランドを破ってからは受け止められないぐらいの追い風の中、ラグビーの面白さを内外に知らせ、経済効果234億円を含め、成果・評価のあった大会となりました。

現在も、静岡県はラグビーの聖地として発展を続けています。大会直後にコロナが世界を覆い、スポーツイベントは大打撃を受け、ようやく立ち直りかけていますが、エコパに打ちあがった花火、観戦に訪れた25,000人余の子供たちの笑顔がまだ心を温めてくれています。



9/28 日本 vs アイルランド



10/9 スコットランド vs ロシア

学校長と初任科生の個別面談

7月7日(木)～9月5日(月)までの計19回

「初任科生の顔と名前を一致させ、日々の成長をしっかりと見届けたい。」という学校長たる私の思いから学生との個別面談を行いました。

クラス名簿順に6、7人のグループを組んで面談。趣味などに取り組む様子を聞いて、それぞれの人物像をつかむことができました。

新人消防士の皆さんは、いろいろな可能性を秘めた若者たちです。彼ら自身が地域の財産とも言えます。

自らを大事にしなが、地域の皆さんの生命、身体、財産を守るべく、消防学校で培った知識、技術、仲間との連携を武器に、危険と隣り合わせの世界で困難に立ち向かってほしいと思います。



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1
☎ 054-369-1190 FAX 054-369-1197 E-mail fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞご覧ください。

静岡県消防学校

検索

